

F Mアップルウェーブ 第93回放送番組審議会

開催日時

平成27年8月22日(土) 12:00~13:00

開催場所

土手町コミュニティパーク(弘前市土手町)

出席委員

委員長 石岡 徹、副委員長 工藤 茂起
委員 渋谷 拓弥、太田 真理子、大西 晶子

会社側出席者

代表取締役社長:清藤 哲夫、専務取締役:一戸 勝美、取締役:倉田 昌直
放送部統括マネージャー:花田 由香子 放送部チーフ:玉田 雅規

議題

- (1)番組に対する意見要望
- (2)次回開催日について 10月17日(土)

議事の概要

○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。

1)課題番組 CAST『土曜の夜は弘大ラジオ』(第3土曜19:00~21:00)

- ① 浴衣を着て放送、という華やかな現場づくりを心掛けているのが良い。動物好きにはわからない、動物が苦手な人も、という気づきがあった。選曲も、流れもしっかりできており、以前より番組作りが上達している。
- ② 以前聴いたものより上達しており、とても聴きやすくなっている。全体のテーマに合わせて選曲出来ているのも良い。浴衣を着ていることへのアピールは、その理由などもしっかり伝えてほしかった。若者が感じている「人との関わりへの緊張(どきどき)」が伝わってよかった。BGMとのバランスも良い。
- ③ メインの男子学生の声が聴きやすく、スムーズな進行が出来ていた。今の学生の素直な声が出ていて好感が持てた。相槌に気になる表現があり、もう少し言葉を選ぶべき場面もあった。浴衣を着て放送しているのであれば、もう少し浴衣の話を膨らませれば季節感も出たのではないか。
- ④ 全体の構成が良く考えられている。このレベルの番組を継続してしっかり作ってほしい。若者の考え方、主張などを、論理的に話が出来ている。弘前市民と動物(カラスやペット)との関わり・共生について、学生が考えている事を今後も伝えてほしい。
- ⑤ メインの男子学生の話し方が、棒読みなところもあったが、学生らしさがあり、誠実さが感じられ好感が持てた。「弘大生の主張」のコーナーも弘前の問題について、いいところをついているな、と感じた。派手なものではないが、しっかり作られて学生らしい番組になっている。

【審議機関の答申または改善】

CASTとアップルウェーブ側としっかり連携をとり、良い番組作りを行う。弘大以外の学生が出演する機会を増やすべき。

【審議機関の答申または改善意見の公表】

- 1)議事録を本社に配備し、社内各部署に配布
- 2)FMアップルウェーブのホームページに掲載